

○専門教育科目

授業科目	指導教授	目標、授業内容・方法、授業計画、成績評価基準	単位
医療データサイエンス学特論（講義）	下川 敏雄	<p>（目標） 医学系研究を実施するうえで留意すべき規則・指針（臨床研究法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針）を理解するとともに、科学的根拠に基づく研究計画の立案について習得させる。</p> <p>（授業内容・方法） パワーポイントを用いた座学での講義を中心に実施するとともに、レポート等により、その習熟度を評価する。</p> <p>（授業計画） 人を対象とする医学系研究、臨床研究、臨床試験、治験において必要な基本的知識を講義する。さらに、科学的根拠に基づく研究計画の立案（FINER,PICO,PECO）に関する講義を行う。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	4
医療データサイエンス学特論（演習）		<p>（目標） 医学系研究では、適切な研究計画の立案が最も重要な要件の一つである。本演習では、科学的根拠に基づく研究計画の立案をコンセプトシートの作成を通じて体得することを目標とする。</p> <p>（授業内容・方法） コンセプトシートを用いた研究計画の立案とその内容のプレゼンテーションをグループディスカッションを通じて実施する。</p> <p>（授業計画） コンセプトシート作成のための基本的内容に関する説明を実施したうえで、グループに分かれて、予め設定された（あるいは自らが計画した）研究を実施するための計画を立案する。立案した内容は、プレゼンテーションにより発表する。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	2
代謝生物化学特論（講義）	井原 義人	<p>（目標） 生体物質の代謝とその医学的意義について理解する。</p> <p>（授業内容・方法） 生体物質の代謝とその医学的意義について講述する。</p> <p>（授業計画） 生体分子（核酸、タンパク質、糖質、脂質など）の構造と機能について学び、生体あるいは細胞機能の制御・統括の分子機構と医学との関連について学習する。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	4
代謝生物化学特論（演習）		<p>（目標） 生体物質の代謝とその医学的意義について考察できる。</p> <p>（授業内容・方法） 文献抄読会、リサーチセミナーへの参加を通じて演習を行う。</p> <p>（授業計画） 生体物質の代謝における諸問題についての文献解読、研究テーマの発表、討論を行う。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	2

○専門教育科目

授業科目	指導教授	目標、授業内容・方法、授業計画、成績評価基準	単位
人体病理学特論（講義）	村田 晋一	<p>（目標） 様々な疾患における細胞・組織の変化や異常について、その特徴や形成機序、および病理発生や臨床的関係の観点から学ぶ。</p> <p>（授業内容・方法） 疾患、特に腫瘍の細胞組織形態について病理総論的な講義を行う。</p> <p>（授業計画） 各院生の研究内容に合わせて行う。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	4
人体病理学特論（演習）		<p>（目標） 細胞・組織の形態変化や異常を顕微鏡下で解析するための手法について学ぶ。</p> <p>（授業内容・方法） 教官の指導のもと、各院生の研究内容に必要な研究手法を院生自らが行う。</p> <p>（授業計画） 各院生の研究内容に合わせて行う。</p> <p>（成績評価基準） 出席度やレポートなどにより総合的に評価し、優・良・可・不可の評点で可以上に単位を認める。</p>	2